

## 11 訂版「職業訓練における指導の理論と実際」 2刷 正誤表

## 本 冊

ページ	訂正箇所	誤	正
48	下から5行目	～訓練科は系基礎と系 <u>専攻</u> に区別されており、～	～訓練科は系基礎と <u>専攻</u> に区別されており、～
49	1行目	は、 <u>標準</u> を示すものである。	は、 <u>最低限必要な時間数</u> を示すものである。
57	表2-2 欄外	* 1～年間訓練時間の <u>基準</u> を1440時間～ * 2～系基礎実技時間 <u>140</u> 時間～	* 1～年間訓練計画時間を1440時間～ * 2～系基礎実技時間 <u>120</u> 時間～
104	図2-25	④ 柱の機能 ③ 柱の耐久性と腐食の防止方法	③ 柱の機能 ④ 柱の耐久性と腐食の防止方法
106	図2-27	・良い製品を～ ・良い作業状態を～ ・良い製品・複雑な～工夫の再 <u>建築</u>	・良い製品を～ ・良い作業状態を～ ・良い製品・複雑な～工夫の再 <u>構築</u>
354	20行目	～2級, 3級, <u>基礎1級及び基礎2級</u> ～	～2級, 3級, <u>基礎級</u> ～

## 練習問題

ページ	訂正箇所	誤	正
3	1行目	(24) 第10次～ <u>実施目標</u> は, ①生産～	(24) 第10次～ <u>方向性</u> は, ①生産～
12	1行目～2行目	～働 <u>く</u> やすく <u>く</u> ことであり, ～	～働 <u>き</u> やすく <u>す</u> ことであり, ～

\* 解答には変更はありません。